

特別支援教育だより

三重県立特別支援学校伊賀つばさ学園・教育支援部

2014. 12. 16 第 57 号



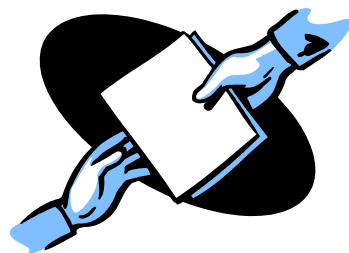
冬の到来！



12月に入ってから、例年以上に寒い日が続いています。気象庁は、長野県や群馬県などに「低温と大雪に関する異常天候早期警戒情報」を出しました。このあたりでも12月13日から一週間、例年より「かなりの低温」が予想され、2.3℃ほど低くなるそうです。四国の山間部で、雪に閉じ込められて孤立した集落のニュースが流れるたびに、昨年12月の支援だよりにあった「災害弱者」という言葉を思い出します。「停電で暖房器具が使えなくなった家庭で、お年寄りが凍死」という痛ましいニュースも目にしました。いつ起こるかわからない非常時、災害時に備えて、どんな準備や心構えをしておけばよいのか、あらゆる状況を想定して考えておくことが必要だと思いました。

さて、本校の一大イベント「つばさ祭り」が11月8日(土)に開催されました。天気にも恵まれ、多くの方々に来ていただき、にぎやかな1日となりました。当日は保護者の方々や地域の方々をはじめ、高校生ボランティアの方々など、たくさんの皆様にご参加・ご協力いただき、誠にありがとうございました。おかげさまで盛大に盛り上がり、楽しい一日となりました。ありがとうございました。

パーソナルカルテについて



9月29日に行われた伊賀市の地域支援連絡会において、災害時に支援がくるまでの過ごし方が話題に上った際、社会福祉協議会さんで配られている筒(医療情報や薬などをまとめ、容器に入れて冷蔵庫に保管しておく)の話が出ました。その際、本校の保護者から「(お子さんの)避難用リュックに『この子の特性』がわかるようなカードを入れている」というお話も出ました。障がいをもったお子さんが災害時・避難時に保護者と離れ、その子のことをよく知らない人と過ごすことがあるかもしれないという状況を、常日頃から考える必要があると考えさせられた瞬間でもありました。「特性がわかるカード」ということで、「それはさぼーとファイルでも、いいの？」という質問がその場に出されました。

それを機に、支援部で県のパーソナルカルテと伊賀市のさぼーとファイル、名張市のパーソナルカルテを一度見比べてみようということになりました。そもそもなぜこのようなファイルができたのかということについて、伊賀市のさぼーとファイルの説明から引用すると、「(このファイルは)『かかわる機関が変わるごとに、子どもの特徴や生育歴などをはじめか

ら説明しなければならない。初めてかかわる人にも読んでもらうだけで子どものことをわかってくれるようなものはできないか。』という保護者の方々の要望により作成」されたそうです。

3つのファイルに共通している基本理念として、「パーソナルカルテは、支援の必要なお子さんが、安心して一貫した支援を受けられるよう、支援の情報をスムーズに引き継ぐための連携支援ツール（である）」と書いてあります。

このカルテは、保護者が記入・作成・保管ですが、すべてのページをもれなく記載しなければならないわけではなく、本人が受けた（受けている）支援の情報、伝えたいと思われる情報に関する箇所の記載のみでよく、各関係機関から渡された情報を添付したり、綴じ込んだりすることもできます。一緒に綴じ込むものの例として母子手帳、お薬手帳、園や学校から情報共有される個別の指導計画、個別の教育支援計画等、また、入院医療計画、サービス利用計画等が挙げられています。

では、どのように活用していくかですが、保護者が各関係機関等の相談や支援を受ける際、福祉や医療サービスを受ける際、就学時や進学時、就労への引き継ぎ等、これまでかかっていた関係機関から次のステップへ移行する際に関係者に提示することにより、本人のできることやこれまでの支援の経過など必要な情報を共有することができます。まさに前の支援から今の支援へ、今の支援から次の支援へ、途切れをなくするための連携支援ツールとなり得るものです。

具体的にページを繰りながら見比べていくと、名張市のものは、県のパーソナルカルテをベースに作られていることがわかりました。本人プロフィール、手帳の取得状況、福祉制度の利用状況、マイページ（本人の得意なこと、苦手なこと、あると助かるもの、してもらえると助かること、みんなに伝えたいこと）、身体・移動・運動や、感覚について、必要な医療行為等の記載については、ほぼ同じです。それに加えて名張市では、生活場面や学習場面での有効な支援についていくつかの項目を挙げ、チェック形式で有効な支援手段を表すページもありました。どんな支援が有効か、一目でわかるようになっています。

伊賀市のさぽーとファイルは、本人プロフィール、手帳取得状況、パニックやこだわりについてのきっかけや対応の仕方などの他、生育記録として妊娠、出産時の様子から乳幼児期の様子、健診の記録、これまでにかかった病気やかかりつけの医療機関、教育・療育の記録や日常生活がどの程度できるかなど、ていねいな記入欄がありました。

記入するかしないかは保護者によるところが大きいパーソナルカルテですが、園や学校からの個別指導計画、個別の教育支援計画、また現在受けている福祉サービスの利用計画等を挟み込んでいくだけでも、有効な情報ファイルとなると思います。

これら3つのファイルについて見比べた表と現物が本校にありますので、詳しい内容をお知りになりたい方は、本校教育支援部までご連絡をお願いします。

公開体験授業について



今年度も、たくさん子どもたちに参加いただいています。小学部であと2回、中学部で1回の開催を予定しています。公開体験授業に参加していただく際の手続きの仕方を次のように変更しますので、よろしくお願いします。詳しいことは、本校のホームページに載せてありますので、そちらをご覧ください。また、不明なことがありましたらご遠慮なく、お電話にてお問い合わせください。

参加を希望される方は、所属する園・小学校から、依頼文書を本校にお送りください。

10日前までに、本校必着でお願いします。

依頼文書は、つばさ学園HPからダウンロードできます。また、4月に配布した「教育支援事業Q&A」にも様式3として載せてあります。

本校より電話にて、参加されるお子さんの様子をうかがい、グループ所属を決めます。

ご要望があれば、電話でお伺いします。

当日体験していただくクラス・グループ等をお知らせしますので、日程に沿って体験授業にご参加ください。

公開体験授業担当者 小学部 井上 敦史（67-1106）

中学部 栗田 陽子（67-1107）

【12～3月の予定】

- ・ 12月19日（金） 2学期終業式
- ・ 1月 8日（木） 3学期始業式
- ・ 1月26日（月） 小学部公開体験授業
- ・ 1月27日（火） 中学部公開体験授業
- ・ 1月28日（水） 高等部入学願書受付（～2月2日）
- ・ 2月10日（火） 高等部入学者選考
- ・ 2月16日（月） 高等部合格発表
- ・ 2月24日（火） 高等部入学願書受付（～27日）〈再募集〉
- ・ 3月11日（水） 高等部入学者選考〈再募集〉
- ・ 3月13日（金） 高等部合格発表〈再募集〉
小学部公開体験授業

* 本校高等部へ入学を考えている場合は、**平成27年1月30日（金）までに教育相談**を受けてください。

編集後記

早いもので、もう年末を迎えようとしています。今年もさまざまな形で本校の教育活動にご理解、ご協力いただき、ありがとうございました。二学期は行事が多く、日々の忙しさに目が回りそうでした。

このたよりを読んでくださっている関係機関の方々も、みなさんお忙しかったことと思います。年末年始を迎えて英気を養い、またリフレッシュして仕事に取り組んでいきたいですね。

来年も、より一層関係機関の方々と連携を深め、伊賀地域の子どもたちの成長に携わっていきたいと思います。よろしくお願いします。

これからもご質問・ご意見・ご感想があれば、下記までご連絡ください。

教育支援部 知花 敬子 TEL 0595-67-1106